

令和7年度第2回首里城復興推進本部会議

議題

1. 令和8年度首里城正殿完成に向けた取組について

(1) 令和8年度 首里城正殿完成記念事業

総額：約8億2千万円
事業数：29事業（細事業含む）

首里城正殿完成記念事業テーマとコンセプト

令和8年の首里城正殿の完成は、首里城復興の大きな節目となることから、首里城正殿の復元のみならず首里城に象徴される沖縄の歴史・文化を含めた“沖縄の魅力”を国内外に発信し、その価値を高めていきながら次世代に継承できるよう、首里城の復旧・復興の機運醸成を図る。

- コンセプト①：首里城正殿の復元並びに首里城に象徴される沖縄の歴史・文化を含めた“沖縄の魅力”を国内外に発信。（以下、当該コンセプト対象の取組を魅力の魅と表示する）
コンセプト②：年間を通して、沖縄の歴史・文化をテーマとしたイベントや、文化・観光振興を目的として行う事業等の実施により、観光資源としての首里城の魅力や沖縄の歴史・文化の価値を高めていく。（以下、当該コンセプト対象の取組を価値の価と表記する）

対象事業を①～③に区分（以下は主な取組）

①「首里城」や「琉球王国」など、沖縄の歴史・文化の魅力を伝え高める事業 事業数16

琉球王国時代の文化財展【文】(魅)

正殿完成沖縄芝居公演【文】(魅)

若年層をターゲットとした琉球芸能公演【文】(魅)

文化芸術団体の取組に対する支援【文】(価)

伝統の技を受け継ぐ沖縄の工芸企画展事業【商】(魅)(価)

首里城関連の埋蔵文化財等の展示【教】(魅)

②文化・観光の振興を目的とし、県民や観光客等の参加を促進する事業 事業数6

ツーリズムEXPOジャパン等でのPR【文】(魅)

国内観光客向けWEBサイト・SNSによる配信【文】(魅)

インバウンド誘客市場向けブランド動画の製作・広告配信等【文】(価)

首里城再興学術ネットワークシンポジウム【土】(魅)

しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業【文】(魅)

沖縄空手特別演武会【文】(価)

③首里城復興の機運を高める事業 事業数7

正殿完成（一般供用開始）記念イベント【土】(魅)

世界遺産ライトアップイベント【土】(魅)

首里城復興キャラバン【土】(価)

オープニングセレモニー及び祝賀会【土】(魅)

2027国際園芸博覧会出展事業【土】(魅)

沖縄のものづくり企画展事業【商】(魅)

令和8年度首里城正殿完成記念事業（R8当初）【概要版】

総額：約8億2千万円
事業数：29事業（細事業含む）

①「首里城」や「琉球王国」など、沖縄の歴史・文化の魅力を伝え高める事業 【16事業】 額：2.5億円

- 首里城正殿完成記念事業 1.3億円（文化観光スポーツ部）【新】《発》《次》 ※首里城正殿完成記念事業 全11事業2.1億円
・沖縄県文化芸術振興会、国立劇場おきなわ、県立芸術大学等と連携し、若手実演家による公演や県外沖縄フェアでのPRなどを実施
- 首里城正殿完成記念・伝統の技を受け継ぐ沖縄の工芸企画展事業 0.2億円（商工労働部）【新】《発》《次》
・県内、県外工芸関連イベントとタイアップした首里城と沖縄工芸のPR、伝統の技を受け継ぐ沖縄県工芸士の企画展・展示販売会

②文化・観光の振興を目的とし、県民や観光客等の参加を促進する事業 【6事業】 額：2.1億円

- 国内需要安定化事業 0.2億円（文化観光スポーツ部）《発》
・国内向け情報発信としてお城EXPOへの出展、県外沖縄関連行事（ツーリズムEXPOジャパン等）でのPR、国内観光客向けウェブサイトおよびSNS記事製作、航空会社等連携プロモーション
- 沖縄観光グローバル事業 0.5億円（文化観光スポーツ部）《発》
・インバウンド誘客市場に向けて首里城正殿及び琉球王国の遺産をテーマとした観光ブランド動画の製作等による国外向け情報発信の強化
- 沖縄空手振興事業 0.1億円（文化観光スポーツ部）《発》
・首里城正殿完成を記念し、首里城と同時期に火災被害を受けた世界遺産であるノートルダム大聖堂と、沖縄空手の精神性を融合させた「沖縄空手特別演武会」等を首里城公園にて実施

③首里城復興の機運を高める事業 【7事業】 額：3.6億円

- 首里城復興イベント事業 1.1億円（土木建築部）《発》《次》
・正殿の一般供用開始時に子供たちを主役にした次世代へつなぐイベントや国内外へ情報発信、県民参画を推進するため民間主催イベントとの連携による気運醸成
- 首里城復興気運向上事業 0.4億円（土木建築部）【新】《発》
・正殿完成までの復元過程や寄附金の活用内容を伝える「首里城復興キャラバン」を県内外で開催

凡例：各表記は以下を示す。
【新】は新規事業
《発》は「国内外への発信」に資する事業
《次》は「次世代への継承」に資する事業

①「首里城」や「琉球王国」など、沖縄の歴史・文化の魅力を伝え高める事業【16事業】額：2.5億円

■首里城正殿完成記念事業【新】《発》《次》

1.3億円（文化観光スポーツ部）

・沖縄県文化芸術振興会、国立劇場おきなわ、県立芸術大学等と連携し、文化財展、沖縄芝居公演、若手実演家による琉球芸能公演や県外沖縄フェアでのPR等を実施（以下、9事業中2事業抜粋）

●琉球王国時代の文化財展/首里城正殿完成記念事業

0.2億円（1.3億円の内数）【新】《発》

・県立博物館・美術館における令和の首里城復元や首里城の歴史に関する資料に特化した企画展の開催

●首里城正殿完成沖縄芝居公演/首里城正殿完成記念事業

0.1億円（1.3億円の内数）【新】

・国立劇場おきなわにおける首里城を主な舞台として擁立派と反対派が対立した故事を描く「大新城忠勇伝」の上演

■伝統文化活性化事業《次》

0.2億円（文化観光スポーツ部）

・小中学生等次世代を担う若年層をターゲットとした伝統芸能公演（「琉球歴史文化の日」記念イベント）の開催

■チムグクルでつなぐ文化芸術振興基金事業

0.3億円（文化観光スポーツ部）

・首里城をテーマとした文化芸術団体の取組（金井喜久子オペラ公演、江戸上り再現など）に対する支援

■首里城正殿記念・伝統の技を受け継ぐ沖縄の

工芸企画展完成事業【新】《発》《次》

0.2億円（商工労働部）

・県内、県外工芸関連イベントとタイアップした首里城と沖縄工芸のPR、伝統の技を受け継ぐ沖縄県工芸士の企画展・展示販売会

■首里城正殿完成記念事業【新】《次》

0.3億円（教育委員会）

・首里城関連の発掘調査で出土した埋蔵文化財等の展示や関連講座の開催、首里城関連の埋蔵文化財に関するビジュアル版を県内の小中学校等へ配布、ビジュアル版等を活用した離島をはじめとする小・中学校及び高等学校での出前授業の開催



②文化・観光の振興を目的とし、県民や観光客等の参加を促進する事業【6事業】額：2.1億円

■国内需要安定化事業《発》

0.2億円（文化観光スポーツ部）

・国内向け情報発信としてお城EXPOへの出展、県外沖縄関連行事（ツーリズムEXPOジャパン等）でのPR、国内観光客向けウェブサイトおよびSNS記事製作、航空会社等連携プロモーション

■沖縄観光グローバル事業《発》

0.5億円（文化観光スポーツ部）

・インバウンド誘客市場に向けて首里城正殿及び琉球王国の遺産をテーマとした観光ブランド動画の製作等による国外向け情報発信の強化

■県民等参画促進事業《発》《次》

0.1億円（土木建築部）

・首里城再興学術ネットワークシンポジウムの実施、復興を通して琉球の歴史・文化を次世代へつなぐため、子どもたちが学ぶ出前講座（本島11回、離島3回を予定）

■首里城復興気運醸成補助事業/首里城正殿完成記念事業 0.6億円（文化観光スポーツ部）【新】

・首里城正殿完成をテーマとした国内外との交流拡大を推進する民間事業への補助事業

■しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ 創出事業 0.4億円（文化観光スポーツ部）

・首里城正殿完成を祝し、地域の伝統芸能（国頭サバクイ、泡瀬の京太郎、フェーヌシマ等）を一堂に会した伝統芸能公演の開催

■沖縄県空手振興事業《発》

0.1億円（文化観光スポーツ部）

・世界遺産である首里城・ノートルダム大聖堂と沖縄空手を融合させた「沖縄空手特別演武会（沖縄空手家とフランス人空手家の共演）」等を実施



③首里城復興の機運を高める事業【7事業】額：3.6億円

■首里城正殿完成記念イベント事業《発》《次》

1.1億円（土木建築部）

・正殿の一般供用開始時に、子供たちを主役にし次世代へつなぐイベント、併せて当該イベント等の国内外への動画配信、民間による関連イベントのとりまとめ、世界遺産（グスク）におけるライトアップイベント等の実施

■首里城復興気運向上事業《発》

0.4億円（土木建築部）

・正殿完成までの復元過程や寄附金の活用内容を伝える「首里城復興キャラバン」を県外8か所（東京、大阪等）県内5圏域で実施

■首里城正殿完成祝賀事業【新】

1.3億円（土木建築部）

・一般供用開始時に併せたオープニングセレモニー並びに正殿復元関係者を交えた祝賀会の開催、記念事業に係る記念誌の作成、「首里城正殿完成記念事業推進連絡会」事務局の運営サポート等の実施

■国際スポーツ交流拠点形成事業《発》

0.1億円（文化観光スポーツ部）

・国際競技大会を誘致し、各国代表の監督や選手等が首里城正殿を訪問し、記者会見を行うなど国内外へ発信

■2027年国際園芸博覧会出展事業《発》

0.5億円（土木建築部）

・2027年3月から神奈川県で開催される2027年国際園芸博覧会において、首里城正殿完成を広く国内外へアピールするため、首里城を模した立体造形花壇等を展示

■首里城正殿完成記念・沖縄のものづくり企画展事業

0.1億円（商工労働部）【新】《発》

・「沖縄の産業まつり」において復興の軌跡映像展の開催、ものづくり体験の実施



(土木建築部実施) 首里城正殿完成記念事業 (案)

①首里城正殿完成記念事業 (案)



●正殿供用開始イベント (1.1億円)

首里城公園内で、国内外の方々と共に正殿完成を祝うことを目的としたイベントや、県内の世界遺産におけるイベントを実施。

上記のほか、右記②、③、④と連携するため事務局を開設し取りまとめ等を行う。

また、特設サイトを開設し、一元的な情報発信を実施する。

●首里城復興キャラバン (0.4億円)

全国・県内各地において、復興支援への感謝を伝え首里城正殿完成をPRするキャラバン(復興パネル展、動画の放映、VRを使ったイベント等)を実施。

●祝賀会及びセレニー等の実施 (1.3億円)

一般共用開始時に併せたオープニングセレモニーの開催、正殿復元関係者を交えた祝賀会の開催、首里城正殿完成記念事業に係る記念誌の作成等。

●2027年国際園芸博覧会出展事業 (0.5億円)

神奈川県で開催される2027年国際園芸博覧会において、首里城を模した立体造形花壇等を展示

●県民等参画促進事業 (0.1億円)

- ・首里城再興学術ネットワークシンポジウム
- ・子ども達が首里城復興を通して学ぶお出かけ講座等を実施。

●中城御殿完成式典 (0.1億円)

中城御殿整備に係る完成式典を実施。

連携
協力

②県関係部局実施事業との連携

●関係部局実施事業をとりまとめ、一体的な情報発信を行うことで相乗効果を高め、機運醸成を図る

【事例】文化振興課 しまじまの芸能祭



【事例】空手振興課 記念演武祭



【事例】森林管理課



③首里城関連イベント (既存) との連携

●継続的に実施されている首里城関連イベントの実施主体に働きかけ、正殿完成記念イベントと連携を図る

【事例】首里城祭実行委員会主催 琉球王朝絵巻行列



【事例】地域事業者主催 首里の朝市、夜市 (酔い宵い)



【事例】首里振興会主催 古式行列



④民間・関係団体の応援事業の募集

●正殿完成記念イベントに賛同する民間・関係団体による取組を募集し、連携を図る



【事例】令和の古曳式那覇フェス



【事例】那覇大綱挽



【事例】民間企業主催 うむいの灯 ランタンウォーク

(2) 正殿完成に向けた庁内連携体制 (案)

「首里城正殿完成記念事業推進連絡会」の沖縄県事業を取りまとめる部会として「首里城正殿完成記念事業ワーキンググループ」を設置する。同WGは県庁内の記念事業等の取組に関する情報共有、企画・調整および事業推進連絡会への報告に関する事務を行う。

「首里城正殿完成記念事業ワーキンググループ」構成課 (案)

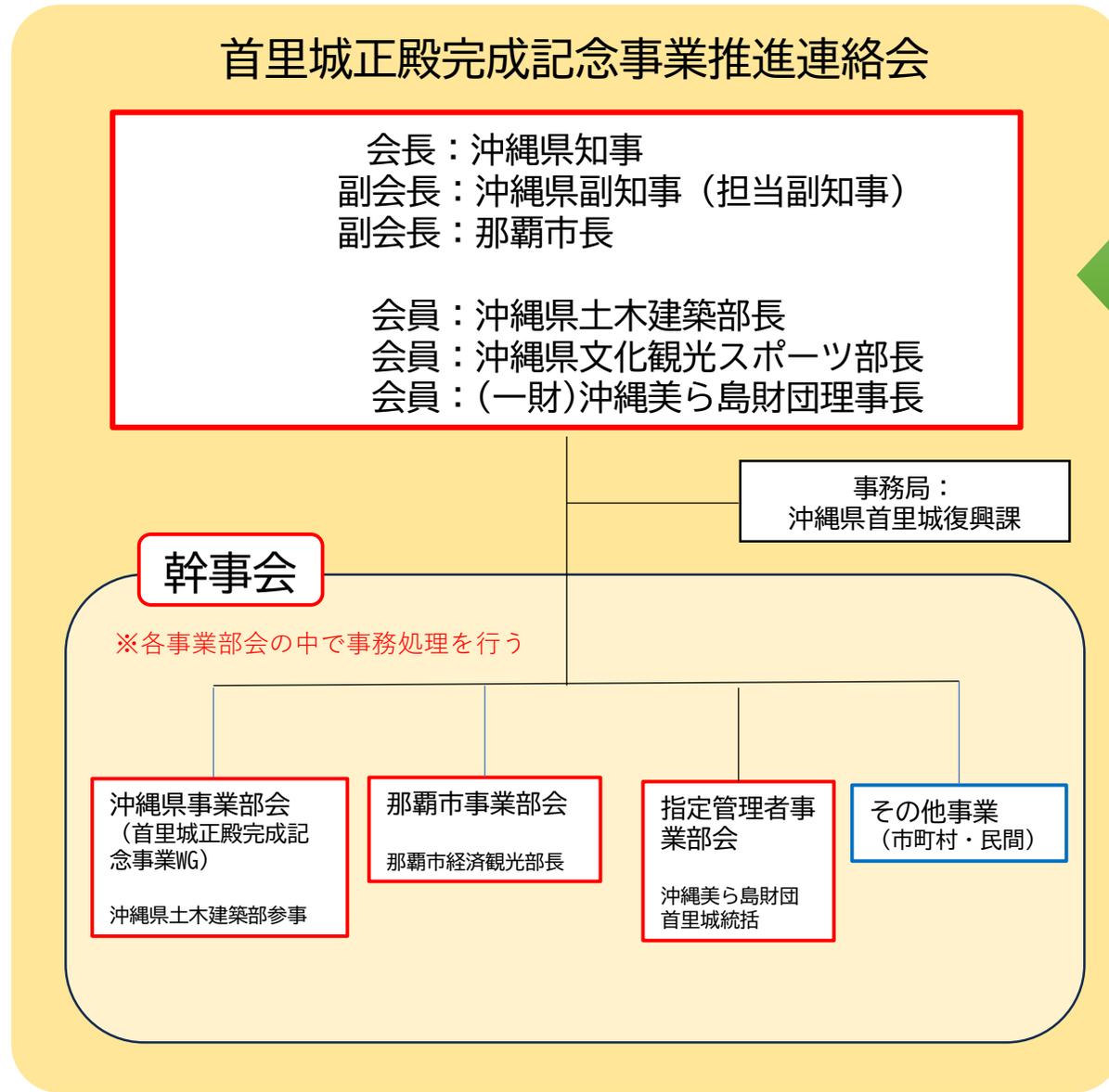
リーダー	土木建築部参事 (首里城復興担当)
土木建築部	首里城復興課、都市公園課
知事公室	平和・地域外交推進課、 <u>広報課</u>
農林水産部	森林管理課
商工労働部	ものづくり振興課
文化観光スポーツ部	<u>観光政策課</u> 、文化振興課、観光振興課、 <u>空手振興課</u> 、 <u>スポーツ振興課</u>
教育庁	文化財課

※下線は首里城復興WGに参加していない課

【構成課の考え方】

※首里城復興ワーキンググループをベースに、正殿完成記念事業に関する事業課に加え、県全体の効果的な情報発信、国内外の関連団体との連携等の観点から、庁内連携会議に参加いただく課を選定する。なお上記案に関わらず、必要性が認められる関係課がある場合、適宜参加いただく。

(3) 首里城正殿完成記念事業推進連絡会の体制 (案)



首里城正殿復元完成式（仮称）

主催：内閣府沖縄総合事務局

連携

【秋開催のイベント（連携模索）】

※以下は例示

首里城復興祭
（令和7年は11/1～11/3）

琉球王朝絵巻行列
（令和7年は11/2）

古式行列
（令和7年は11/3）

那覇大綱挽
（令和7年は10/11～13）

(4) 首里城正殿完成記念事業タイトル・ロゴマークの公募

【趣旨】

首里城正殿の完成という大きな節目に、歴史や伝統の継承、未来へ向けた新たな発展への期待を共有し、多くの人々が感動し共感できるよう、取り組む必要がある。そこで、幅広い層の皆さまの関心を集め、また、本事業の効果的・統一的な広報展開を図るため、発信力のあるタイトル等及びロゴマークを公募する。

【活用方法（想定）】

選定したタイトル・ロゴマークは首里城正殿完成記念事業において活用することとする。また、首里城正殿完成記念事業推進連絡会においても利用を提案する。さらに、首里城正殿完成記念事業に参画したい民間事業等に対しても付与することとし、一体感のある事業推進に取り組む。

募集項目	内容
募集作品	(1)タイトル (2)ロゴマーク
理念	(1) 記念事業の意義、正殿完成の喜びや歴史的価値、文化の継承と未来への発展を表現していること (2) 幅広い年代や国籍の方にわかりやすく親しみやすいこと
応募資格	個人または団体（プロ・アマ問わない）
応募時期	令和8年2月下旬～4月下旬
選定方法	有識者を含めた選定委員会で選定